

今週（7月25日から7月29日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、先週に引き続き資金調達意欲が強く、週を通してレートが高止まりする展開となった。無担保コールO/N物は、大手行、地銀業態からの調達を中心に▲0.015～▲0.005%近辺での出会いとなった。週を通してオファーサイド、ビッドサイド共に大きな変動が無く、木曜までの加重平均レートは、▲0.010%での推移となった。ターム物は、ショートターム物を中心に、▲0.025～▲0.010%近辺で引き合いが見られた。日銀当座預金は、週初550兆円程度からスタートしたが、29日に新型コロナオペの期落ちにより541兆円程度まで減少する見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は▲0.21～▲0.10%と、28日にレートが急低下したことを受け、ボラタイルな推移となった。SC取引の個別銘柄では、5年140～153回、10年352～367回、20年170～181回、30年65～75回、40年10～15回などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、閑散とした状況の中、全ゾーン横ばい圏での推移となった。29日に実施された3M物(1098回債)の入札は、やや弱めの結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。26日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でおfferされ、平均落札利回り較差、全取り利回り較差ともに+0.026%と甘めの結果となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は月末発行にあたり、石油・鉄鋼・機械等、複数の業態から大型発行が見られた。円安や原材料・エネルギー高に加え、S B（普通社債）の調達環境の悪化を受けてか、複数の業態で発行が増加した。発行残高については、7月21日以降連日28兆円を超える高水準での推移となった。発行レートについては、足許の市場残高の増加やCP等買入オペのレート上昇を受けて0%から小幅なプラス圏で推移している。CP等買入オペは、26日に事前予定通り4,000億円でofferされた。結果は平均落札レート+0.019%、按分レート0%と前回比（平均0%・按分▲0.001%）で平均、按分ともに上昇した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
7/25（月）	27,699.25	0.198	136.60	△ 0.010	△ 0.123	5,506,500
7/26（火）	27,655.21	0.205	136.45	△ 0.010	△ 0.112	5,524,500
7/27（水）	27,715.75	0.200	136.99	△ 0.010	△ 0.118	5,514,700
7/28（木）	27,815.48	0.200	135.30	△ 0.010	△ 0.204	5,512,500
7/29（金）	27,801.64	0.175	133.00	△ 0.010	△ 0.137	5,407,100

来週（8月1日から8月5日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/1 (月)					6月の米建設支出 7月のISM 製造業景況指数
8/2 (火)	7月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y 27,000億円 8/3発行			
8/3 (水)	8月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)				6月の米製造業新規受注・出荷・在庫 7月のISM 非製造業景況指数
8/4 (木)		10Y物価連動 2,500億円 8/5発行			英中銀MPC結果発表 6月の米貿易収支
8/5 (金)	7月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 6月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 6月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 6月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TB3M 56,000億円 8/8発行	交付税借入 12,000億円 8/19借入		7月の米雇用統計 6月の米消費者信用残高

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/1 (月)	400	▲ 19,600	▲ 19,200	国債買入 国債補完 CP買入	9,800 ▲ 100	11,000	20,700	1,500	TB3M発行▲56000償還54700 2Y発行▲28000償還18800
8/2 (火)	1,000	▲ 11,000	▲ 10,000				0	▲ 10,000	交付税借入▲12000期日11000
8/3 (水)	1,000	▲ 78,000	▲ 77,000	全店共通	▲ 2,300		▲ 2,300	▲ 79,300	年金保険料揚げ、法人税・消費税揚げ 申告所得税揚げ 10Y発行▲27000
8/4 (木)	500	1,000	1,500				0	1,500	
8/5 (金)	1,000	9,000	10,000				0	10,000	10Y物価連動発行▲2000 交付税借入期日11000
週間合計	3,900	▲ 98,600	▲ 94,700	—	7,400	11,000	18,400	▲ 76,300	

8/1は日銀予想、8/2以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続き大手行を中心に積極的な調達が見込まれる事から、レート水準は低下しにくい展開が予想される。レポ市場は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、GC O/N物のレート水準は▲0.150～▲0.100%程度で推移する事が見込まれる。短国市場は、8月5日に3M物の入札実施が予定されている。また、2日に実施が予想される短国買入オペのオファー額は、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、月初発行となり例月であれば落ち着いたマーケットとなるが、8月中旬にお盆の連休が控えている事から、前倒しでの発行が増加するが注目される。

主要なイベントは、海外で8月1日に7月の米ISM製造業景況指数、3日に7月の米ISM非製造業景況指数、4日に英中銀金融政策委員会(MPC)、5日に7月の米雇用統計などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入